



シーニックバイウェイ北海道

シーニックバイウェイ（Scenic Byway）とは、景観・シーン（Scene）の形容詞シーニック（Scenic）と、わき道・より道を意味するバイウェイ（Byway）を組み合わせた言葉。地域と行政が連携し、景観や自然環境に配慮し、地域の魅力を道でつなぎながら個性的な地域、美しい環境づくりを目指す施策です。

ルート紹介

宗谷シーニックバイウェイ

テーマ：あたたかい最北のみち

利尻礼文サロベツ国立公園を有する宗谷シーニックバイウェイは、秀峰利尻富士、水平線までつづくサロベツ湿原、海拔0mから高山植物を見ることが出来る礼文島、雄大な周氷河地形の宗谷丘陵など厳しい環境に育まれた豊かな自然が残る地域です。また自然を活かした広大な酪農場、豊かな漁場もあり、食による感動も与えてくれる日本最北エリアを形成しています。

【活動方針】

- 魅せるための景観形成
- 守り、育てる環境保全
- 「ひと」と「もの」をつなぐ情報発信
- おもてなしの心をもった観光演出
- 地域における連携活動



礼文島リボンプロジェクト



フットパス事業（宗谷丘陵コース）

宗谷シーニックバイウェイ

指定ルート

候補ルート

萌える天北オロロンルート

大雪・富良野ルート

札幌シーニックバイウェイ
藻岩山麓・定山渓ルート

支笏洞爺ニセコルート

どうなん・追分
シーニックバイウェイルート

函館・大沼・噴火湾ルート

天塩川流域ミュージアムパークウェイ

層雲峡・オホーツク
シーニックバイウェイ

東オホーツクシーニックバイウェイ

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

十勝シーニックバイウェイ トカプ子麓大空間

十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

萌える天北オロロンルート

テーマ：暮らしぶりの映し。北の光が続く道。

北海道の日本海側北部に位置し、厳しく、そして美しい自然の中で営み続けてきた「暮らしぶりの映し」が魅力である萌える天北オロロンルートは、日本海オロロンラインとしても親しまれ、暑寒別岳等の山並みや、天売、焼尻島への眺望、夕日の階段等、美しい自然景観があります。

【活動方針】

- 愛着と誇りを持つ郷土の景観の保全と創出
- 自然の恩恵である地元食材のブランド化と魅力の発信
- 地球上に優しい『くらしぶり』のお手本づくりと促進
- 暮らしに根ざしたおもてなしによる暖かい交流の魅力づくり
- 先代の暮らしぶり新たな価値観を将来に伝え楽しむ



ヒラメ底建網オーナー in 遠別



地域情報受発信プロジェクト

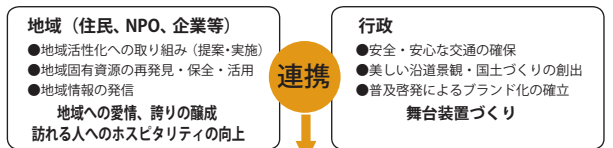


「シーニックバイウェイ北海道」推進の基本方針

競争力のある美しく個性的な北海道の実現

- 意義**
- 地域への愛着・誇りの醸成
 - 旅の快適性の向上、ストレスの少ないツーリング環境の形成
 - 地域ブランドの形成

- 目標**
- 交流人口の拡大
 - 地域産業の振興
 - 地域における雇用の拡大



地域資源の保全・改善による『美しい景観づくり』『活力ある地域づくり』『魅力ある観光空間づくり』

競争力のある美しい個性的な北海道を実現

シーニックバイウェイ北海道で行われている主な活動

美しい景観づくり

活動団体や地域間の連携などにより、沿道景観をより魅力的にする活動。

活力ある地域づくり

地域資源を生かしたまちづくりの勉強会など、地域の誇りを育む活動。

魅力ある観光空間づくり

旅行者の満足度向上を目指し、観光メニューの創出、イベントの実施、情報発信など。

大雪・富良野ルート

テーマ：四季を彩る花人街道

大雪山・十勝岳連峰の裾野と山懐を通る大雪・富良野ルートは、パッチワークのように美しい丘陵地帯やラベンダーなどの花々に彩られ、映画やドラマ、CMの舞台となっています。ジャガイモや麦など良質の農産物にも恵まれるほか、十勝岳温泉や吹き上げ露天風呂など数多くの温泉がわき、ゆったりとした時の流れと共に心が癒される環境があります。

【活動方針】

- 大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、丘陵地の田園景観を保全する
- 沿道景観を整えるとともに、コリドーとしての連携や参加意識を醸成する
- ユニバーサルデザインの推進と田園型リラクゼーション観光の充実
- 農業と連携した観光のしくみづくりやオペレーション機能の充実



地域の情報発信・PR「情報拠点」



雪のアートプロジェクト「ウィンターサーカス」の開催 ※写真、見晴台公園

